

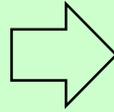
先駆的な農機具の導入により高位安定生産を実現し、露地野菜産地の発展を先導

かぶしきがいしゃ たなきゅう

～株式会社 棚久（愛知県碧南市）～

経営体の概要

事業実施前：平成5年
 基幹作物：にんじん、たまねぎ、かんしょ
 経営面積：3.7ha



現在：令和元年
 基幹作物：にんじん、たまねぎ
 経営面積：5.8ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

（株）棚久は、碧南市で代々続く農家の永井氏が平成30年に設立した農業法人で、にんじんとたまねぎを中心に5.8ha経営している。用水が整備される以前の同地域の営農は、天水頼りであったことから干ばつ被害が頻発していたが、昭和38年に国営かんがい排水事業等が着工し、パイプラインが整備され、スプリンクラーによる散水が行えるようになった。平成6年には、老朽化、機能低下していた基幹水利施設の改修・更新事業の着工により、用水の安定供給、水管理の省力化が図られたことから、作物の収量や品質の安定化が実現している。同社では、機械化による省力化や栽培改善により高水準の土地生産性、労働生産性を確保し、地域のモデルとなるなど、地域の農業の維持・発展にも貢献している。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

緑肥による土づくりを行っている一方で、地下水位が高い地域であるためほ場表面への微傾斜施用、弾丸暗きょ、高畝栽培で排水性を高めることで、品質、形状が安定したにんじんを生産している。機械化による作業の効率化を実施しているが、品質の向上に繋がる間引きなどの行程を従来どおり手作業で行うことで高品質なにんじんを生産している。同社のにんじん、たまねぎの単収は全国平均の2倍程となっており、また、名古屋市場における碧南産のにんじんの販売単価は他県産の1.3～1.4倍程となっている。



棚久の皆様

②省力化・低コスト化

通年農業用水が確保できていることから、播種期や少雨の際にも十分な散水により、にんじん5品種、たまねぎ9品種と多品種栽培を実現し、繁忙期の分散と収穫期の長期化を図っている。また、大型倉庫兼作業場を増築し、立体的な資機材整理の実施、オリジナル機械の開発及びオーダーメイドの選果ラインの導入など作業の効率化を図っている。これらの取組により労働時間は、にんじん、たまねぎとも全国平均より1割程少なくなっている。



にんじんの収穫

③地域に及ぼす影響

会長の永井是充氏の経営実績をモデルに露地野菜の機械化導入による省力化が図られた結果、同地域では後継者の就農が増えた。また、是充氏が部会員と共に優良品種の選抜や栽培技術向上等を目的に設立した「生産振興研究会」の活動のなかで、にんじんの新品种「へきなん美人」シリーズが開発された。



へきなん美人のPR

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町
 受益面積：7,073ha
 事業期間：平成6年～平成23年（平成24年～26年）
 事業目的：用水改良
 主要工事：ダム1箇所、頭首工2箇所、用水路L=57.4km、水管理施設

位置図（愛知県）



新矢作川用水地区

<問い合わせ先>

東海農政局
 農村振興部農地整備課
 課長補佐(競争力強化事業推進)
 電話：052-223-4638

（令和元年度調査時点）